

ITマーケティングNews

「保護されていません」表示でGoogle警告 – 常時SSL化が加速

■ Webサイトの暗号化（常時SSL化）は必要？

今年7月24日にGoogleが発表したWebブラウザChrome（クローム）の最新バージョン（Chrome 68）では、SSL対応していないWebサイトにアクセスすると、アドレスバー横に「保護されていません」という警告メッセージが表示されるようになりました。

SSL対応していないWebサイトとは、アドレスが「http://」から始まるWebサイトを指します。

WebサイトにはSSLサイト（ページ）と非SSLサイト（ページ）が存在しますが、非SSLサイトにアクセスした場合、ブラウザが右図のような警告を表示します。



■ 非SSL通信は、暗号化されていない（盗聴が容易な）通信

PCやスマホでWebサイトを閲覧する場合、表示するWebサイトのデータ（html形式）が、インターネットを介してダウンロードされます。ユーザー側では「ただ、見ているだけ」という感覚でも、PC、スマホは裏側でせっせとデータをダウンロードしていますが、そこで送受信されるデータは暗号化されていない場合、容易に盗聴・覗き見が可能なお状態にあるという点が重要なポイントです。

「http://」から始まるWebサイトへアクセスした場合、そのWebサイトへアクセスしているログ、Webサイトデータが盗聴されるリスクは常にあります。また、送受信されるデータを盗聴・解読してID/PW、クレジットカード情報などを盗み取られるハッキング被害、通信途中に割り込んでデータを改ざんするといったサイバー攻撃も発生しています。近年、Wi-Fiなどの無線利用が一般に普及し、通信が傍受されやすくなったことが、被害の背景にあります。



主なメリット

常時SSL化のメリット・デメリット

- Webサイト閲覧時のデータ伝送全体が暗号化されるため、盗聴・改ざんを防げる。
- 国内トップシェアブラウザGoogle Chromeで「保護されていません」と表示されない。
- 非SSLサイトと比べて、表示速度が速い（訪問者にメリット）。
- サイトへの流入経路などのアクセス解析データが残る（非SSLサイトは残らない）。
- SSL化していることで、サイト運営者が信頼される。
- SEO（検索エンジン対策）上、若干有利になる。

デメリット

- コストがかかる

■ サイバー犯罪の高度化を背景に推奨される常時SSL化

かつては、ネットショッピングなどでもクレジットカードを入力する画面にだけSSLが施され、他のページはすべて非SSLというサイトが大半でした。情報漏えい、改ざんなどサイバー犯罪が増加するにつれて、住所や氏名など個人情報を入力させるページにSSL化が広がってきました。（今でも中小ネットショップで非SSLページを見かけることがありますが、ここでの買い物は恐怖です。くれぐれも、お気をつけください。）

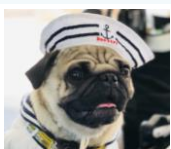
サイバー犯罪が高度化し、閲覧情報データまでが盗聴・流出するに至り、近年、Webサイト全体をSSL化する「常時SSL対応」が推奨されるようになりました。日本のインターネットを牽引してきたYahoo! JAPANは、提供するWebサービスの常時SSL化を2016年4月から開始し、2017年3月末に対応を完了しています。

http://www.yahoo.co.jp（SSL化対応前）

https://www.yahoo.co.jp（SSL化対応後：現在）

 保護された通信 | https://www.yahoo.co.jp

Webサイトを運用される企業・事業者様は、常時SSL化を検討しましょう。



上述のとおり、Webサイト常時SSL化は、ブラウザの表示上も訪問者に安全な通信を提供するメリットがあります。サイトへ訪問される方に安心していただくためにも、Webサイトのリニューアルや、契約の更新時のタイミングなどでWebサイト全体のSSL化をご検討されると良いのではないのでしょうか。

（ITマーケティングNews 編集長：エリオス）

定額制ビジネスの鉅脈を探ろう

Webサービスで用いられていたサブスクリプション方式のビジネス（いわゆる定額制ビジネス）に、さまざまな業界から熱視線が集まるようになった。定額制ビジネスは新聞の購読などをはじめとした古くからあるビジネス手法だが、これまで開拓されていなかったサービスに用いられるようになった点に注目したい。



Adobe Stock



Amazon Prime



Microsoft(Office365)

定額制ビジネスは、例に挙げたような著名ソフトウェアやWebサービスを提供する企業が、従来の売り切り型から定額制へ転換し、こうした課金形態が普及したことによって、一般に認知され注目されるようになった。

■ 定額制ビジネスのメリット

定額制ビジネスでは、一回（または一定期間）あたりの利用料金を低く設定できるため、今までリーチできなかった顧客層へのアプローチ機会を見込める。また、売り切りモデルでは販売後喪失しがちだった顧客との接点が継続されるため、顧客満足度を高めながらクロスセルやアップセルの機会を創出しやすい。継続的な収益確保は、顧客のニーズを満たしている限り安定的な収益をうみ、季節変動や繁閑の影響も減らすことができる。顧客の視点からは、初期費用を抑えて商品サービスを利用できることや、契約更新や保守点検などの煩わしい手続きに取られる時間が減る点がメリットと言える。

■ 多様化する定額制ビジネス

ソフトウェアや動画、音楽などのデジタルコンテンツが中心だった定額制ビジネスは多様化の一途にある。定額制ビジネスがフィットするサービスの特徴として、利用継続性・頻度が高いことが挙げられる。自社の製品やサービスをどのようにチューニングすれば定額制ビジネスに置き換えが可能か（卸売から小売、製造から販売、売り切り型からレンタル・シェア型）視点を変えて検討してみると、新たなビジネスチャンスが生まれそうだ（浅井）。



洋服レンタル「エアークローゼット」



オリジナル家具「kamarq」



スーツ&スタイリング「suitsbox」



メルセデスペンツ（米で試験運用中）



ラーメン「1日一杯野郎ラーメン生活」



オーナー制日本酒「KURAND CLUB」

今月のお客様ホームページ紹介 ペットショップさんぽぽ <http://www.san-popo.com/>

東京都練馬区の「ペットショップさんぽぽ」様は、1級愛玩動物飼養管理士の店長が、愛犬のお悩みに丁寧に答えします。ペットの無料送迎やフードの配送など、忙しい飼い主様に寄り添ったサービスが好評です。



ホームページのご相談は **アイ・モバイルまで**

info@imobile.co.jp

提供実績
2.5万件以上

mobile 発行：アイ・モバイル株式会社
(TKC関連企業)

〒102-0094 千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル1F
TEL：0120-606-126 FAX：0120-937-255
営業時間：9:00～18:00（土日、祝日、年末年始を除く）
URL：<https://www.imobile.co.jp/>

